

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月25日		記入者		内線	3162
部 名	環境保全部	課 名	公園課		課長名	大房 薫
事務事業名	小山公園整備事業					
予算上の事務事業名	小山公園整備事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	22420		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政 策 名	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます					
基本施策名	第4節 魅力ある公園づくり					事業開始年度
施 策 名	第2施策 地域の特性を生かした公園の整備					平成16年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	都市計画法、都市公園法					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	小山公園整備事業		平成16年度から平成18年度の3ヶ年計画により、公園の整備を行う。 種別：近隣公園 公園面積：3.1ha			
計画年次	16	年度～	18	年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
多様化する市民ニーズに対応するため、多目的な利用が図れる運動場、子どもから高齢者まで憩える芝生広場、若者を中心として人気の高いニュースポーツ施設等を整備することで、幅広い世代の憩いの場、スポーツ・レクリエーション活動の場としての利用を促進するとともに、近隣住民の災害時における避難場所としてのオープンスペースの確保を図るため。					(2) 対象(誰、何)	
					相模原市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
スポーツ広場や芝生広場、駐車場等の整備を行った。 ・防球ネット設置 ・グラウンド再整備(防塵対策) ・グラウンド植栽工 ・園路植栽工 ・駐車場整備工 ・電気設備工(園内灯8基)						
・芝生広場芝張り工 ・給水設備工 スプリンクラー13基 水飲み場1基 受水槽						
6 関連・類似事業や他市の状況	スポーツ広場の設置 市内9か所 近隣公園の配置 市内9公園 神奈川県内公設スケートボード広場5か所(横浜市、横須賀市、茅ヶ崎市、厚木市、秦野市)					
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	0	0	161,899	119,853	125,676	
一般財源	0	0	87,709	31,373	20,176	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	74,190	88,480	105,500	
人件費の合計	0	0	9,690	8,070	6,456	
事業コスト合計(a)	0	0	171,589	127,923	132,132	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	小山公園整備事業			対象名称(単位)	整備面積(m <sup>2</sup> )	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0	0	171,589	127,923	152,132	
対象数	0	0	18,000	8,000	5,000	
単位あたり経費(円)			9,533	15,990	30,426	
前年度比				1.68	1.90	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	整備進捗状況 (%)	指標式と指標の説明		整備済公園面積 / 計画公園面積 × 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	58.1		
目標	0.0	0.0	58.1	83.9	100.0
目標達成度			1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	市民1人あたりの近隣公園面積 (㎡/人)	指標式と指標の説明		近隣公園面積 / 市内人口数 (各年度3/31現在)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.19	0.21	0.23		
目標	0.37	0.38	0.39	0.40	0.44
目標達成度	51.4	55.3	59.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		スポーツ広場やニュースポーツ施設などスポーツ振興の推進を図るとともに、近隣住民の憩いの場となる小山公園の整備を計画的に進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
平成16年度にスポーツ広場、駐車場等の整備を行った。多様化する市民ニーズに対応するため、平成18年度にニュースポーツ施設等の整備を進めるが、ワークショップなどの手法により利用者の中心となる若者の意見を取り入れながら、計画の策定にあたる。			設置後の公園の管理に市民の協力を得ること。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			